

プログラム・デザイン・コース

■ 「霧島錦江湾国立公園の干潟を活用した環境教育」

～体験を通して気づく人と自然のつながり～

- 日 時： 2026年9月27日（日）9：30～16：00
会 場： 重富干潟・重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアム
定 員： 25名
講 師： 浜本 麦 氏（特定非営利活動法人くすの木自然館）
前田 修之 氏（佐賀県立厳木高等学校 校長）

集 合 時 間： 9:30 （受付9:00～9:30）

集 合 場 所： 重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアム前
〔住所〕〒899-5652 鹿児島県始良市平松 7675-2

ア ク セ ス： ①無料送迎バス（乗車時間35分程）
（JR鹿児島中央駅前⇒重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアム前）
往路：鹿児島中央駅前8:30集合 8:40出発予定
復路：重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアム 16:15出発予定
②マイカー利用 ※重富海岸駐車場をご利用下さい（駐車場は無料・約100台スペース）

プログラム（予定）

9:00～	受付（於：重富海岸自然ふれあい館なぎさミュージアム前）
9:30～	開会・オリエンテーション ・挨拶、参加者自己紹介、目的・スケジュール共有等
9:40～	くすの木自然館 活動紹介 浜本氏
10:10～	グループワーク①（90分）「自己紹介と干潟シュミレーションゲーム」
11:40	昼食
12:40～	干潟でのフィールドワーク（90分）（※）
14:10	休憩
14:20～	グループワーク②（40分）「グループワーク①とフィールドワークの体験を通して、持続可能な社会の在り方を理解し自分にできる行動を考える」
15:00	学校とつながるワンポイントアドバイス 前田氏
15:30	質疑応答
15:55	事務局からの案内
16:00	解散 送迎バス利用者はバスへ移動

※安全性が考慮された、無理なく体験できるプログラムです。随時スタッフがサポートいたします。

※当日の天候等で、プログラムに変更が生じる場合がございます。

※体験活動時の服装は、帽子（強い日差しよけ・頭部保護のため、必ず着用してください）、また濡れてもよい動きやすい服装をご準備ください。日焼け対策としてラッシュガード等の着用も有効です。足元は、マリンシューズや長靴、かかとのあるサンダル（クロックス不可）等をご用意ください。しおりにて詳細をお知らせします。

プログラム・デザイン・コース

■ 事業者情報（会社概要、活動概要など）

特定非営利活動法人くすの木自然館は、1995年「鹿児島県の自然のすばらしさ・楽しさを伝え、未来へ引き継ぐ」ことを目的に活動を開始しました。生物多様性や食育の視点を取り入れ、体験を通して自然を大切に思える人を育てる環境教育を実践しています。2000年にNPO法人として認証されました。現在は、環境省「霧島錦江湾国立公園 重富海岸自然ふれあい館 なぎさミュージアム」及び鹿児島県「鹿児島県共生・協働センター」の受託運営も行っています。

■ 主な活動の3つの柱

① 人と自然が共存する社会づくり

海岸・干潟・湿地、耕作放棄地などの再生や、野生生物の調査・研究を実施。

特に始良市・重富海岸では、年間700人しか訪れなかった海岸を、清掃活動やエコツアーにより年間7万人が訪れる海岸へと再生。国立公園・ジオパークの仕組みに組み込み、現在も行政と連携して保全と活用を進めています。

② すべての人が持続可能な社会のための教育を受けられる社会づくり

家庭環境や障がいの有無に関わらず、誰もが「持続可能な社会」を学べる機会を提供し、学校教育と社会教育の両面から、ESD（持続可能な社会のための教育）を推進しています。

③ 誰もが自然を満喫できる社会づくり

創立以来、「鹿児島県の自然を楽しく伝える」ことを理念とし、年齢・障がいの有無を問わず自然を楽しむ体験を提供。

自然を楽しむ体験が「その場所を大切にしたい」という気持ちにつながると考え、体験を共につくるサポーターの育成にも力を入れています。

新規事業の立ち上げには補助金・助成金を活用し、約3年後には自主財源で運営できる体制を目指しています。受益者負担の導入や寄付・協働事業の創出など、応援企業の募集も行っています。

2006年 鹿児島県民表彰「くらし・環境部門（団体）」

2012年 環境省「環境省水・土壌環境局長賞」

2013年 環境省「みどりの日自然環境功労者環境大臣表彰 鹿児島県「ひと・まちデザイン賞 特別賞」

2025年 鹿児島県障害者保健福祉大会差別解消推進部門 県知事表彰

